



日本筆記具工業会

〒116-0013

東京都荒川区西日暮里 2-30-6

TEL03-3891-6161 FAX03-3892-9692

発行:日本筆記具工業会 調査研究広報委員会

URL <http://www.jwima.org>

書育の啓発による書く文化・日本の文化への貢献 日本筆記具工業会会長 堀江圭馬



あけましておめでとうございます。

平成22年の新春を皆様と共に迎えることができましたことを心よりお慶び申し上げます。昨年5月の総会で日本筆記具工業会 第五代会長に選出されて初めての新年を迎えることとなり、改めて身の引き締まる思いでございます。

昨年11月はドバイショックにより世界経済が混迷を深め、国内においても急激な円高とデフレに突入するなど、かつてない深刻な景気後退局面が継続しています。

筆記具業界も個人消費の低迷に加え納品市場の冷え込みなど依然極めて厳しい環境にあり、昨年10月迄の統計によると我が国の筆記具市場は昨年より19%も落ち込みました。一方、直近の海外統計をみると、ドイツでは鉛筆の生産額が19%も伸びたというデータもあり、このように筆記具は隠れた需要を刺激することによって、まだまだ消費を拡大できる潜在力を持った分野であると言えます。アメリカでは日本からのマーキングペンの輸出が39%も伸びています。日本の筆記具メーカーが有する新製品開発力、高い技術力と高品質という世界に誇る特長を更に伸ばすことによって、世界市場で勝利し、この難局を乗り切っていきたいと考えています。

ところで本工業会では、今期、「書くことの大切さをより多くの方に知って頂き、感じて頂くことを目指して『書育』活動を広く社会に普及させること」を重点に活動しております。

その一端をご紹介させていただきますと、まず、昨年12月に発行された雑誌「かしこ」(東京法規出版/頁3に紹介)に「知性を育む手書きの手紙」という書育関連の特集記事が掲載されました。一昨年、書育の講演をして頂いた牧 敦先生(株式会社日立製作所 基礎研究所 主管研究員/工学博士)と私が対談する形式で「書育」のPRをいたしました。

また、書く楽しみを、将来の日本を背負っていく子供たちに知って貰うための「書育学習教材の開発」を今年度の重点事業として取り上げております。順調に開発が進んでおり、年明け早々にこの教材を使って数校でテスト授業を実施した上で、4月から学習教材を学校に無料配布し活用して頂く予定です。加えて、「書育」の主旨に賛同して頂いている学校教育関係の先生方を中心に「書育推進協議会」が設立される構想も進んでおり、3月頃にはキックオフの行事を行うことが計画されています。

日本人は文章を書くことにとても意欲的な国民ではないかと思えます。小説や随筆、詩の他にも、短歌、俳句とさまざまな伝統文化があって、大衆がそれを楽しんでいます。インターネット上でも、世界で最も多いブログの言語は日本語といわれるほどですから、書く楽しみを知っている国民だと思えます。今年は書育の啓発を具体的なアクションに結びつけ、書育活動を通じて、書く文化・日本の文化に貢献したいと考えています。

本年も、工業会の皆様、業界の皆様と共に、文具業界を発展させるための諸活動を行なって参りたいと存じますので、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、新春のご挨拶といたします。

JWIMA 講演会開催 講師は小俣雅子さん

テーマ「人間関係のレベルアップ・テクニック」

12月2日(水)「JWIMA 講演会」を上野精養軒で実施しました。講演会講師は、“AMラジオの女王”と呼ばれている小俣雅子さん。長年にわたるアナウンス歴と著名人との豊富な交流を題材に「話力・人間関係力をアップさせ、自分と周囲の人々の幸福度を高める」話し方についてご講演くださいました。

多くの芸能人やラジオ局のお仲間と、いつも楽しく明るい番組をつくるのが仕事だった小俣さんの人間関係学は具体的でとても心温まるものでした。



< 講演抜粋 >

道を歩いていて、とても物越しのやわらかい上品なおばあちゃんが「上野駅はどこですか」ときいてきました。きかれた方は、じつは普段からバリバリおしゃべりする明瞭快活な方なのですが、このおばあさまの様相に合わせて、丁寧でおだやかな言葉づかいで道をお教えしているのです。じつは皆さんはこんな風に相手に合わせてあげたいという「調和の心」を持っているのです。話し方を変えることで、あなたのイメージも変えられるのです。気分のいい日をことばでつくる方法もあります。ネガティブな思い込みをポジティブに転換する方法もあります。また、自分の話をよくきいてもらうためには、あなたが聞き上手にならなくてはなりません。

人間関係で苦しまないためには、人を嫌わなことがなにより大切です。また、人はそれぞれ別の感じ方や見方をしているのですからお相手を尊重することで、お相手の心を温め、また人間関係も温めることができます。お話した内容に皆さんの人間関係がレベルアップするヒントがひとつでもあることを願っています。



JWIMA 年末懇親会開催

第2部 12月2日午後6時から 上野精養軒にて



12月2日(水)、講演会を修了した後、会場を改め年末懇親会を開催しました。来賓に経済産業省(日用品室、環境生活標準化推進室)様、(財)日本文化用品安全試験所様、全日本文具協会様をお迎えし、さらに講演を終えれば

経済産業省 製造産業局日用品室様より来賓を代表してご祝辞をいただき、小川晃弘副会長の力強い乾杯の音頭で開会しました。小侯さんの著書が当たる抽選会などを楽しみ、なごやかに懇親を深めました。後藤郁雄副会長の中締めをもって2009年の工業会の活動を締めくくりました。



かりの小侯雅子さん、多数の文具専門紙誌様を加え、総勢約100名でこの一年の労をねぎらいました。

開会の挨拶に立った堀江圭馬会長は「筆記具業界は日本経済同様厳しい状況にあるが、本工業会は長期的な視野に立って、手書き文化、書く文化の啓もう活動をしていきたい」と語り、出席者の盛んな拍手をいただきました。続いて、

「かしこ」(東京法規出版)2009年12月号
特集「知性を育む手書きの手紙」 対談 堀江圭馬会長と牧 敦先生



掲載号表紙

第3回 技術交流会 開催決定

平成22年6月17日(木) 13:30 ~ 16:00 共和フォーラムにて

世界トップクラスの会員同士の専門性の交流を促進して新ビジネスを創出させようとの目的でスタートした「JWIMA技術交流会」も第3回を迎えます。今年も前回と同様に会場を拡張して浅草橋・共和フォーラムで開催することが決定しました。日時は、6月17日(木) 13時30分開会です。

第2回は出展社15社、来場者約200名(会員に限る)という発展を見て、出展社・見学者共「ビジネスのきっかけとなる情報交流ができて良かった」、「また続けて開催して欲しい」と好評でした。

出展のエントリーを受け付けています。事務局までお寄せください。

会期 平成22年6月17日(木)
 時間 搬入 12:30 ~ 13:30
 (受付 13:00 ~ 随時)
 オープニング 13:30 ~ 13:40
 見学 13:40 ~ 16:00
 撤収 16:00 ~ 17:00
 会場 浅草橋・共和フォーラム 2F A・B・C・D
 室(旧 共和会館)
 対象社 日本筆記具工業会会員に限る
 出展社 部品メーカー等
 見学者 完成品メーカー(商品開発及び部材調達
 担当者等)
 出展料 無料
 今回も、展示スペースとは別に「商談スペース」を設けます。完成品メーカーのOEM供給としての出展も歓迎します。



<09技術交流会 出展社の「声」から>

「これからも毎年続けていただきたい」「新入社員等、研修としては価値があった」「面談スペースを増やして欲しい」「他業種にも見学を開放してはどうか」--前回の技術交流会に参加された出展メーカーの声です。業界人でありながらこれまで交流のなかったメーカーとの出会いと交流をたいへん歓迎していました。15社中、14社が「2010年交流会も参加する」と意欲的な姿勢でした。

「新製品をもっと開発し、積極的に営業活動を行うべきだった」、「コスト面での影響かと思われる」--これは成約に至らなかった背景について、出展社が抱いた印象です。技術交流会に参加し、完成品メーカーと交流を深める中で、開発力やコスト競争力にさらなる努力が必要だと気付かれた様子です。見学者が示してくるグローバルな市況観が、出展社のさらなる励みになったようです。

出展社アンケート(抜粋)は次頁で報告しています

2009年実施 技術交流会 出展社アンケート(抜粋)											
出展社	どのような成果がありましたか？						新規の交流は始まりましたか？		進展していますか？		
	A	B	C	D	E	F	A	B	A	B	C
	特に成果は無かった	名刺交換できた	社名と取扱商品をPR	商品や技術をPR	今後の感触がつかめた	取引に結びついた	始まった	無かった	問合せ・見積りなど	工場を見に来られた	販売契約できた
A社											
B社											
C社											
D社											
E社											
F社											
G社											
H社											
I社											
J社											
K社											
L社											
M社											
N社											
O社											
計	0	14	7	12	6	1	8	7	8	2	0

優良工場見学会 11.17実施

JFEスチール(株)東日本製鉄所 シャープ(株)ハイテクノロジーホール

11月17日(火)、本工業会と日本鉛筆工業協同組合との共催で「優良工場見学会」を実施しました。

見学先はJFEスチール(株)東日本製鉄所(千葉県千葉市中央区川崎町)とシャープ(株)ハイテクノロジーホール(千葉県千葉市美浜区中瀬)の2ヶ所。会員19名が参加しました。

JFEスチールは、03年に川崎製鉄と日本鋼管が統合して誕生した大手鉄鋼メーカーで、現在世界第6位の粗鋼生産量を誇っています。「東日本製鉄所」は首都圏隣接の製鉄所として、キッチンシンクや自動車用鋼板、パイプライン用の大径鋼管など薄板の生産を得意としています。

シャープ ハイテクノロジーホールでは同社が世界に誇る「液晶パネル」技術と「ソーラーパネル」技術を見学しました。高画質液晶テレビの仕組みや、クリーンエネルギーシステムのソーラーパネル素材や光を電気に変える仕組み等のハイテクノロジーを目で見て理解できるように解説してくれました。



21年度第4四半期委員会活動報告 (2009.11.1~12.31)

<総務 関係>

- 11.1.0 書育推進協議会設立打合せ会
(21年度第6回)
- ・書育推進協議会の設立について 定款(案)の検討
- ・21年度書育アクションプランの進捗について 教材開発、イベント、情報発信など
- ・その他(「かしこ」対談記事掲載について)
- 11.2.4 書育検討小委員会(21年度第5回)
- ・書育教材開発の進捗について
- ・「書育推進協議会」関係報告について
- ・その他 「かしこ」対談記事掲載、書育関連書籍紹介 など
- 11.2.1.4 書育推進協議会設立打合せ会
(21年度第7回)
- ・書育推進協議会の設立について 設立趣意書、定款、会費規則、事業計画・収支予算、役員選出(案)
- ・書育教材開発の進捗について

<調査研究・広報 関係>

- 11.1.8 調査研究・広報委員会
(21年度第2回)
- ・2009技術交流会の成果確認について
- ・2010技術交流会企画案について
- ・その他(HPRリニューアルについて)

<流通 関係>

- 11.1.2 お客様相談窓口連絡会
(21年度 第3回)
- ・各社のお客様対応事例について
- ・ボールペンお役立ち情報の見直しについて
- 11.1.9 流通小委員会(21年度第2回)
- ・2009年カタログ実態調査集計について
- 11.2.8 流通委員会(21年度 第1回)
- ・2009年カタログ実態調査集計報告について
- ・カーボンフットプリント制度の動向について
- ・お客様相談窓口連絡会活動状況報告について
- ・その他(書育活動の経過報告)

<技術国際 関係>

- 11.2.4 事務用修正液部会
(21年度第4回)
- ・JIS S 6055(事務用修正液)の見直しについて

- ・修正テープ規格化についての審議
- 11.2.5 製品安全小委員会
(21年度第1回)
- ・EWIMA技術委員会出張報告について EN71(欧州玩具安全指令)改正関連情報など
- ・筆記具安全性基準の今後の方向性について
- 11.2.9 シャープペンシル部会
(21年度第2回)
- ・ISO規格定期見直し案件 (ISO 9177-1,-2,-3)の審議について
- 11.2.9 ボールペン部会(21年度第2回)
- ・ISO規格定期見直し案件(ISO 9175-1)の審議について
- ・JIS S 6061改正 消費生活技術専門委員会の報告について
- 11.2.1.0 マーキングペン部会
(21年度第4回)
- ・ラインマーカー(蛍光ペン)業界基準の作成について
- ・その他(BS 7272-1,-2 ISO化に関するEWIMAアンケートの報告)

<JIS改正 関係>

- 11.2.2 ゲルインキボールペンJIS改正 消費生活技術専門委員会(21年度第1回)
- ・JIS S 6061(ゲルインキボールペン及びレフィル)改正原案についての最終審議

お知らせ

「第9回通常総会」は5月13日(木)午後5時から上野精養軒にて開催します。例年のとおり総会終了後に懇親会を実施します。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第3回 JWIMA 技術交流会
 会期平成 22年6月17日(木)
 時間 受付13:00~
 オープニング 13:30 ~ 13:40
 見学 13:40 ~ 16:00
 会場 浅草橋・共和フォーラム2F
 (旧共和会館)